

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	15-4																																		
PDCA	主要事業名	障がい者(児)手当等支給事業	部課名	福祉部地域福祉課	担当	岡澤																																		
					内線	351																																		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 3 単位施策： 障がい者福祉																																							
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 279,949 千円																																							
	会計 一般会計 歳出科目 03.01.01.06.50																																							
	3か年実施計画(当該年度事業費等)： ー 千円																																							
	事業概要等	<p>在宅の障がい者・児に対して、国の制度である手当の支給事務を行うとともに、市の制度として障がいの程度に応じた手当を支給する。</p> <p>事業目的： 在宅の障がい者・児に対して各種手当を支給し、福祉の増進を図る。</p> <p>事業内容： 在宅の障がい者・児に対して、各種手当を支給する。</p> <p>問題点・ 適正な給付を実施するため、手当支給対象外となる施設入所や長期入院を把握することが必要である。</p>																																						
	予算額	主要事業とする理由																																						
	279,949 千円	在宅の障がい者・児に対して、国及び市の制度として手当を支給し、福祉の増進を図るため。																																						
	財源内訳	得られる成果																																						
	市費	重度障がい者・児等に手当を支給することで、経済的負担の軽減と在宅福祉の増進を図ることができる。																																						
	242,330 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給対象者が過不足なく手当を受給している状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	支給対象者が過不足なく手当を受給している状態	実績値	—	—	—		目標値	—	—	—		実績値					目標値					実績値					目標値		
目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																				
支給対象者が過不足なく手当を受給している状態	実績値	—	—	—																																				
	目標値	—	—	—																																				
	実績値																																							
	目標値																																							
	実績値																																							
	目標値																																							
31,809 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給対象者が過不足なく手当を受給している状態</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	支給対象者が過不足なく手当を受給している状態	実績値	—	—	—		目標値	—	—	—		実績値					目標値					実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																				
支給対象者が過不足なく手当を受給している状態	実績値	—	—	—																																				
	目標値	—	—	—																																				
	実績値																																							
	目標値																																							
	実績値																																							
	目標値																																							
4,601 千円																																								
その他																																								
1,209 千円																																								
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																						
	282,009 千円	重度障がい者・児等に手当を支給することで、経済的負担の軽減と在宅福祉の増進を図ることができた。																																						
		成果指標				令和3年度																																		
		支給対象者が過不足なく手当を受給している状態	実績値	—	—																																			
			目標値	—	—																																			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 手当制度の周知を図るとともに、受給者の施設入所や長期入院を的確に把握し、適正な給付を実施することができた。今後も国手当と市手当の給付事務を連携し、適正な給付に取り組む。																																						
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 今後も、在宅の障がい者・児の負担軽減を図るため、国・市の制度である手当を支給していく。																																						
	観点別評価	必要性	有効性		効率性																																			
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト 削減余地	ない																																			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																																			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																						

目標項目(予算計上時に作成)
予算見積書で活用

評価項目(決算時に作成)
主要施策の成果報告書で活用